

資料

生涯学習案内

大学の公開講座、
図書館、美術館などを
利用する

I 市民の生涯学習意識

80万都市になった新潟市が昨年、09年に「新潟市生涯学習市民意識調査」（教育委員会）を実施しました。

調査方法は層化抽出方式（注）で2500人から回答を集計したものです。そのため市内全域、男女比、年齢別、ともに偏りなく集計されています。調査内容は(I)生涯学習、(II)社会活動の二つからなるものです。調査計画から結果の分析には新潟大学や新潟青陵大学の先生があたっています。

（注）統計で母集団から標本を任意で抜き取る際、層別集団のそれぞれから適切な比率で抜き取ること。

新潟市では調査結果に基づいて来年度から5年間の「第3期生涯学習推進基本計画」を策定する予定です。この調査結果のなかから、(I)生涯学習の調査結果を中心に、市民が生涯学習についてどのように考えているのか紹介したいと思います。いま段階における新潟市民の平均的意識をみる事が出来るようです。

1 まず初めに1日の自由時間（平日）をみると2時間く4時間が25%、1時間く2時間が23%。（休日）は8時間以上が29%で第1位です。

2 自由時間をどう過ごしているかの回答は、①新聞雑誌、TV（平日）が76%で休日ではやや下がって61%ですが、大半が安直な過ごし方をしていません。

3 生涯学習をやっているか、どうかの質問では55%がやっていると回答しています。

この数字が高いか、低いかについては、調査報告では類似の「県民アンケート調査」、あるいは総務省「生涯学習に関する世論調査」の数字と比較して、「県民アンケート調査」では「やっている」が45%、総務省のそれでは「一年間一回も生涯学習をやらなかった」は51%になっています。新潟市以外の県内や全国と比べても10%程度「高い」数字が出ています。

4 生涯学習をやっていると回答した人に「何をしたか」を聞くと、以下のような回答になっています。

- ①本、雑誌、新聞 56%
- ②仲間とのサークル活動 33%
- ③TV 26・9%
- ④通信教育、放送大学 6%
- ⑤大学等の公開講座 4・5%

それを何に活用したか、という質問には趣味の活動が66・5%、健康づくりが48・8%で、この二つに集約されています。地域活動に活用したと回答した人は僅かに10%です。また仕事や就職に活用したと答えた人は30・6%もいますが、これは最近の就職

状況を反映しているようです。

全体としては個人的楽しみや健康維持に集約されているようです。地域活動に活用している数字が少ないのが意外でした。行政の提供する講座等の内容を反映しているのかも知れません。

5 これから生涯学習をやってみたい、と答えた人は80%おり、いまやっているという数字の55%を大きく越えています。生涯学習をやってみたいと思っている人は、潜在的にはかなり多いようです。

6 ではこれから何をやってみたいかという質問には、

- ①スポーツ、健康づくり、レク 50%
- ②芸術、工芸 40%
- ③パソコン、インターネット 27%

やはりスポーツや健康づくりが多くなっていますが、絵を描いたり、陶芸等を楽しみたいと思っている人も多いようです。パソコンやインターネットが3位に入っているのは年配者の回答かも知れません。

ただ気になるのは、環境問題、福祉（手話・点字・介護技術等）、人権擁護（男女平等問題・同和問題等）

等が約一割前後であったことです。

II 大学等の公開講座や図書館の紹介

新潟市の生涯学習についてのアンケート結果は、多くの市民が生涯学習への強い希望をもっていることがわかります。しかし提供される講座等の不足や時間の問題などが障害になっているように思われます。

以下、県内のいくつかの大学や図書館等の生涯学習にかかわる講座等を紹介します。

大学の公開講座

新潟大学では各学部の授業を学生と一緒に受講して、試験に合格すれば単位が認定される科目等履修生制度があります。また同じく各学部の授業を受講できる市民開放授業もあります。こちらは試験がないので単位認定もありません。公開講座は市民に生涯学習の機会を提供するための講座で、TV公開講座等があります。

敬和学院大学では科目等履修生制度とシニア入学制度の二つがあります。科目等履修生制度は原則として大学のすべての講座が履修できますが、履修期間は前

期または後期の6カ月間です。シニア入学制度は学生と同様に4年から8年間で履修しますが、入学試験は免除されます。現在3人ほどの方が通学しているそうです。

新潟国際情報大学でも市民向けの公開講座を実施しています（一部は学生と一緒に）。内容は文化・教養講座が16講座。ビジネス講座が14講座。資格講座が8講座。語学講座が29講座。パソコン講座が18講座もあります。

その他の大学も特色ある講座を市民に公開しています。いずれも有料です。詳しくは各大学に問い合わせてください。

新潟県立図書館

図書館は図書を読んだり借りたりする場所ですが、生涯学習に役立つサービスがたくさんあります。そのいくつかを紹介します。

調査相談（レファレンス） 図書館を利用すると、いつでも県立図書館には50万冊以上の図書がありますから、目的の図書や資料を引き出すのは容易ではあ

りません。そこで司書に相談するのがもつとも近道です。具体的に何が知りたいか、なぜそれを知りたいかを伝えて協力してもらいましょう。その道の専門家だけに参考になる図書や資料を探してくれます。

調査相談は電話、Fax、郵便、Eメールでもできます。資料のコピーの郵送サービスもあります。

図書以外の外部データ資料 図書のほかに雑誌、新聞はもとより、マイクロフィルム、映像・音声資料等もあります。また館内の端末を利用して外部データベースに接続するサービスもあります。『マガジンプラス』（雑誌、論文等の検索）、『聞蔵Ⅱビジュアル』（朝日新聞の1945年以降の記事の検索）、『日経テレコン21』（日経4紙の記事の検索）等があります。いずれも検索は無料ですが、プリントは有料です。

CD-ROMで国立国会図書館の雑誌記事索引で国内の学術雑誌に掲載された論文名や執筆者が検索できて便利です。また裁判の判例の要旨が、日付、裁判所名で検索できます。

図書館ネットワーク 県立図書館はじめ、県内の市町村図書館や大学図書館、国立国会図書館等の機関と協定がありますので、調査依頼や資料の借り出しが

できます。

インターネットの利用 メールアドレスを登録してパスワードを入手すれば、資料検索や図書等貸し出しの予約ができます。

大学図書館

ほとんどの大学では図書館を市民に開放しています。登録することで図書の貸し出しもできます。

美術館

新潟県立近代美術館、万代島美術館、新潟市立美術館等では美術鑑賞講座や映画鑑賞会（美術に関する）、ワークショップ、あるいは所蔵品の映像での公開等を随時実施しています。また海外の図書館へもインターネットのホームページを通じてリンクできます。万代島美術館からは大英博物館やルーブル美術館、中国の秦始皇帝兵马俑博物館等の20余の美術館にリンクできます。

（大滝浩道）